



県内 Stage1 も油断は禁物! 新型コロナウイルス感染症

令和4年5月25日
富山県感染症情報センター
(富山県衛生研究所内)
(0766-56-5431 直通)

感染症発生動向速報

(令和4年第20週分・5月16日～5月22日)

《インフォメーション》

●新型コロナウイルス感染症

国内の新型コロナウイルス感染者数は、5月24日時点で8,623,114例となり、30,329例の死亡が確認されています。全国の感染者数は5月上旬から中旬にかけて増加傾向でしたが、5月中旬以降は横ばいもしくは減少傾向となっています(図;折れ線グラフ)。

今週の県内の感染者数は1,454例であり、先週(9日～15日)の1,632例より減少しましたが、先々週(2日～8日)の881例よりは多くなっています(図;棒グラフ)。県内で検出されている変異株は、2月上旬には全てオミクロン株のBA.1系統でしたが、現在、BA.1系統より感染性が高いとされているBA.2系統への置き換わりが進みました。県衛生研究所の変異PCR検査では、5月中旬時点でBA.2系統疑い株検出率が既に99%となっています。BA.1系統とBA.2系統との重症度の比較については、実際の入院リスク及び重症化リスクに関する差はみられないことが報告されています。また、ワクチンの予防効果についても差がないことが報告されています。

更なる感染拡大の防止のためには、ワクチンの追加接種や基本的な感染対策(手指消毒、正しいマスクの着用、十分な換気、対人距離を保つこと)の継続が重要です。3回目接種によりオミクロン株に対しても発症予防効果が期待できることから、接種機会を得た12歳以上の方は速やかに接種することが推奨されます。体がだるい、熱がある、のどに違和感がある等の症状がある場合は、出勤や登校、外出や人と会うことを控え、速やかに医療機関に連絡のうえ、かかりつけ医等の指示に従ってください。相談する医療機関に迷う場合は、受診・相談センター(076-444-4691;24時間対応)にご連絡ください。また、ワクチン接種を受けられない方、感染している可能性に不安を抱える方などを対象にPCR等検査無料化事業が実施されています。詳しい内容は県HPよりご確認下さい(<https://www.pref.toyama.jp/1103/20211227pcr.html>)。

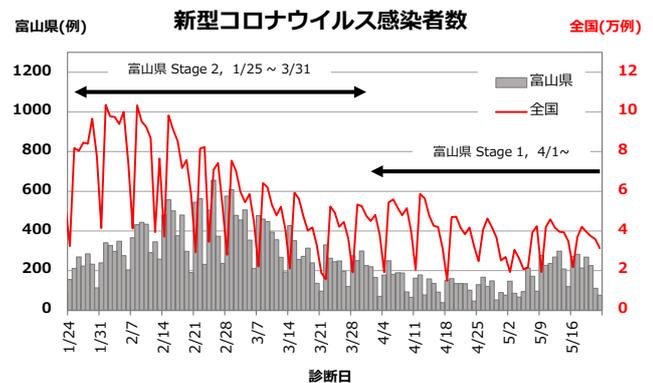
《全数報告の感染症》

新型インフルエンザ等感染症 新型コロナウイルス感染症 1,454件(暫定値)
二類感染症 結核 2件(①70歳代、男性 ②80歳代、男性)
四類感染症 レジオネラ症 2件(①50歳代、男性、肺炎型 ②90歳代、女性、肺炎型)
五類感染症 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1件(第19週診断分:80歳代、男性、B群)
後天性免疫不全症候群 1件(第17週診断分:40歳代、男性、AIDS)
梅毒 2件(①第19週診断分:70歳代、男性、無症候
②20歳代、男性、早期顕症梅毒I期)

《定点報告の感染症》

今週の県内上位6疾患		定点あたりの数	
順位	疾病名	今週(増減)	先週
1位	感染性胃腸炎	6.83(→)	6.83
2位	手足口病	0.79(↑)	0.48
3位	突発性発しん	0.34(↑)	0.24
4位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.28(↓)	0.41
5位	RSウイルス感染症	0.21(↑)	0.07
6位	咽頭結膜熱	0.17(↑)	0.14

富山県感染症情報センターURL: <https://www.pref.toyama.jp/branches/1279/kansen/>
お問い合わせ URL: https://www.pref.toyama.jp/1279/kurashi/kenkou/kenkou/1279/#tmp_inquiry



○感染症発生動向調査報告状況（令和4年第20週 令和4年5月16日～令和4年5月22日）

分類	疾患	今週報告分（第20週）							累積報告数（令和4年第1週（1月3日）～）						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市 ^{※1}	その他 ^{※2}	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市 ^{※1}	その他 ^{※2}	計
新型インフルエンザ等感染症	新型コロナウイルス感染症	227	103	386	171	562 ^{※1}	5	1,454	2,928	2,527	7,274	2,823	15,650 ^{※1}	162	31,364
二類感染症	結核			1		1		2	1	2	16	6	16		41
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症									1	4		1		6
四類感染症	つつが虫病									1					1
	レジオネラ症			1	1			2	3		5	2	7		17
五類感染症	アメーバ赤痢										1		2		3
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症										1	1	2		4
	急性脳炎										2				2
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症								2		5		5		12
	後天性免疫不全症候群												1		1
	侵襲性インフルエンザ菌感染症										1		1		2
	侵襲性肺炎球菌感染症										1		3		4
	水痘（入院例）												1		1
	梅毒					1		1	2		5	2	14		23
	播種性クリプトコックス症												2		2
バンコマイシン耐性腸球菌感染症												1		1	
定点疾病 (下段は定点当たりの患者数を示す)	インフルエンザ										1				1
	RSウイルス感染症	1		3		2		6	29	18	233	56	283		619
		0.25		0.38		0.20		0.21							
	咽頭結膜熱	2		3				5	28	14	116	7	35		200
		0.50		0.38				0.17							
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1	1	4		2		8	23	10	85	21	139		278
		0.25	0.33	0.50		0.20		0.28							
	感染性胃腸炎	13	25	40	51	69		198	365	455	1,076	446	1,304		3,646
		3.25	8.33	5.00	12.75	6.90		6.83							
	水痘		1	1		2		4		6	22	1	18		47
			0.33	0.13		0.20		0.14							
	手足口病		2	21				23	1	10	87	3	47		148
			0.67	2.63				0.79							
	伝染性紅斑								1		4	1	1		7
	突発性発しん	1		3	2	4		10	12	9	57	17	45		140
	0.25		0.38	0.50	0.40		0.34								
ヘルパンギーナ	1						1	40	7	22	1	6		76	
	0.25						0.03								
流行性耳下腺炎			1				1	1		5	1			7	
			0.13				0.03								
流行性角結膜炎								7	2	2				11	
細菌性髄膜炎											1	1		2	
マイコプラズマ肺炎											1			1	
インフルエンザによる入院患者（※3）											3	1		4	

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

※1 県報道資料の判明日調査中は、公表前日を判明日とした暫定値です。 ※2 その他は県外、居住地非公表分です。

※3 インフルエンザによる入院患者累計報告数は、令和3年第36週(9月6日)～の集計です。